

発行 | 字 国場自治会
発行責任者 | 嘉数 芳則

那覇市国場95番地
TEL 098・855・3165
FAX 098・855・1811

写真 | 軽便鉄道・国場駅舎と職員

9 月度 行事

- ▼13日(金) 観月会
- 旧暦8月15日 十五夜
- 午後7時～
- ▼16日(月・祝) 敬老会
- 午後1時30分～

10 月度 行事

- ▼5日(土) カジマヤー祝賀会
- (詳細は後日)

国場生老会 視察研修

7月15日、総勢57名の日帰り研修を行った。JA国場前から出発し、かりゆしビーチリゾートへ。ホテルではランチバイキングに舌鼓を打ち、至福の時であった。海洋博公園では、美ら海水族館と熱帯ドリームセンターの二手

に分かれ、各々興味深く見学した。おんなの駅「なかゆくい市場」では、



もくじ

- 国場生老会 視察研修
- 国場念仏エイサー道ジュネー
- 第2回 字国場慰霊祭
- 国場木会 渡名喜島研修
- 国場野菜生産部会 グラウンドゴルフ大会
- 第30回 学事奨励会
- 仲井真小学校まちづくり協議会 総会

みんなで買い物を楽しみ、心地よい疲れの中、帰路についた。

第30回 学事奨励会

台風9号の接近で開催が危ぶまれていた第30回学事奨励会が8月9日、公民館ホールで無事行われた。

奨励会には国場地域をはじめ県内外に住んでいる自治会関係の児童生徒が集まり、作品提出も多くあった。読み聞かせボランティア「すみれの会」が読み聞かせを行った。

「蜘蛛の糸(語り:宮良和代、琴演奏:山内貴祐)」や「まあちゃんのながいかみ(語り:比嘉里美)」、「おまえ うまそうだな(語り:宮良和代、高良知希[那覇小6年])」が朗読され、みんな静かに熱心に聞いていた。その後、作品を提出した人にはご褒美が授与された。



かき氷を食べたりビンゴゲームを楽しんだり

いっぱいの中、奨励会は終了した。と児童生徒たちの笑顔

仲井真小学校まちづくり協議会 総会

2019年度「仲井真小学校まちづくり協議会」の総会が行われた。

地域活動支援事業や地域住民との親睦を深める事業、文化的なまちづくりを推進する事業、安心・安全パトロール事業などの事業計画が承認された。主な事業では、仲井真小学校4年生の総合学習

「国場川について」フィールドツアーをすでに行った。また、仲井真中学校の1年生を対象に地域で活躍する卒業生を講師に招き、仕事のやりがいや楽しさなどの体験談をもらう「身近な職業人に聞く仕事のあれこれ」を今年も計画している。



5月30日

国場木会 渡名喜島パークゴルフ研修



会員11名を乗せた船が泊港を出港し渡名喜島へ向かった。

天気にも恵まれ、船上からの風景はとても穏やかであった。渡名喜島の港から民宿ムラナカに向かい到着後、ふくぎ島渡名喜で昼食をとり早速、渡名喜村パークゴルフ場へ。見事に整備されたゴルフ場で慣れないステッキ

等を手に取り、ゴルフ談議に花を咲かせた。夕食後、民宿の食堂で懇親会を行い会員相互の親睦を図った。翌日、那覇一渡名喜一久米島を30年間結んだフェリー「ニューくめしま」の最終航海を渡名喜港で見送り帰途。感慨深い渡名喜島研修となった。

♪会員募集♪

只今、国場木会で会員募集を致しております。老若男女、国場上又毛で健康維持の為、「グラウンドゴルフ」でストレス解消しませんか？

8月から、日・月・木曜日（午前9時から）活動しております。

国場自治会員の皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。

国場野菜生産部会 グラウンドゴルフ大会

7月23日、上又毛グラウンドゴルフ場において、これまでにない快晴の中、30名が大会に参加した。毎年行われるこの大会を会員各位もとても心待ちにしており、和やかな雰囲気の中でプレーを楽しんだ。プレー後に昼食をとり、賞品授与式が始まると皆の顔に笑みがこぼれた。厳しい暑さの中行われた大会だったが、全員が楽しく無事にプレーを終えることができ、安堵の表情で大会を終えた。



国場念仏エイサー 道ジュネー

盆の中日8月14日、国場念仏エイサーの道ジュネーが国場集落内で行われた。蒸し暑い夏の夕方7時に公民館を出発した。集落内7カ所で国場念仏エイサーと沖縄尚学高校の生徒によるエイサーが演じられ、行く先々の人たちから温かく迎えられた。エイサー隊は民俗芸能保存会を中心に婦人部、団体、愛好会、班長、風紀取締役など役員で組織されており、他に類のない国場独特のエイサーである。



道ジュネーは午後10時頃まで演じられ終了した。後世まで大事に残

したい国場の誇りとなる行事である。



第2回 字国場慰霊祭

令和元年6月30日、第2回字国場戦没者慰霊祭が、上又毛に建立した國場慰霊之塔でしめやかに執り行われた。今回は自治会関係者だけの参加となった。戦争体験者の高齢化により参加できる

方が少なく、さみしい気がする。自治会員は戦後生まれが多くなった。勝ち負け問わず戦没者はいて、残された家族も同じように悲しみに包まれる。戦争を知らない若い人は二度

と戦争が起こらないように体験談を聞き、次の若い世代に繋げていってほしい。戦争の体験談を聞き、そして語り継ぐことが出来たら、慰霊之塔の建立も意義深くなるだろう。